

中学部 第1～3学年2組 自立活動（見る聞く） 学習指導案

日 時 ○月○日（○）9：50～10：40

場 所 自立活動室Ⅱ

指導者 T1○○○○ T2○○○○

他8名

1 題材名 「物語の世界へ④ ～ふしぎなボジャビのき～」

2 題材の目標

(1) 注意を向けて、登場人物を見たり、せりふや楽器の音などを聞いたりする。【自】【環境の把握（1）】

(2) 好きな活動をやりとりで選んだり、発声などで自分の気持ちを伝えたりする。

【豊】【コミュニケーション（1）】、【豊】【人間関係の形成（1）】

3 生徒と題材

(1) 生徒について

本学習グループに所属する生徒は1年生男子3名、2年生男子2名女子1名、3年生男子1名女子2名であり、自立活動の学習を主とする。吸引などの医療的ケアが必要な生徒や、姿勢の面で配慮が必要な生徒がいる。難聴の生徒や、見えにくい生徒がいる。

生徒はこれまでの学習を通して、特徴的なキャラクター（人物、動物）やペープサートを見たり、効果音としての楽器の音や歌を聞いたりすることで、物語に興味をもち、楽しめるようになってきた。また、同じ物語を繰り返すことで見通しをもち、自分の好きな活動を見つけられるようになってきた。具体物に手を伸ばしてやりたい気持ちを伝えたり、楽しい気持ちを発声などで表したりする姿が見られてきた。

(2) 題材について

本題材では、「ふしぎなボジャビのき」というアフリカの物語を扱う。この物語には様々な動物が登場するので興味をもちやすく、動物やせりふに注意を向けて見たり聞いたりできる。また、歌の場面が何度かあるため、歌うことで気持ちを高め、楽しみながら物語に参加できる。繰り返しの場面やせりふがあるため、見通しをもちやすい。そのため、安心感をもって楽しい気持ちや好きな場面を教師や友達に伝えたり、物語を覚えて簡単なせりふを言ったりできる。

この物語の学習を通して、主体的に見たり聞いたりする姿や、好きな活動を選んだり気持ちを伝えたりしながら、生き生きと学習活動に参加する姿を育みたいと考え、本題材を設定した。

(3) 指導について

- ・登場人物に注意を向けて見やすいように、個の見え方（距離・位置・方向）に配慮したり、オノマトペなどと組み合わせたりしながら、見えやすいサイズのペープサートを提示する。追視や注視がしやすいように、大きいサイズの教材をゆっくり動かししたり、登場人物によっては教師が扮したりする。

【自】【環境の把握（1）】

- ・せりふや楽器の音に注意を向けて聞けるように、ゆっくりと抑揚を付けてせりふを言ったり、動物の足音をイメージできるような楽器を準備したりする。

【自】【環境の把握（1）】

- ・教師とやりとりしながら好きな活動を選べるように、魅力的な役や活動を準備し、ペープサートや楽器などの具体物で選ぶ場面を設定して働き掛ける。

【豊】【コミュニケーション（1）】

- ・発声などで自分の気持ちを伝えられるように、表出をじっくり待つとともに、そういった姿が見られた場合は側にいる教師が称賛したり、全員の前で取り上げたりする。

【豊】【コミュニケーション（1）】、【豊】【人間関係の形成（1）】

4 本題材における生徒の実態及び目標

氏名	実 態	目 標
A 男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味の高いものは頭部を動かして見ようとする。好きな音を聞くと笑顔になり、模倣するように声を出す。</li> <li>・気持ちが高まると身体の緊張が強くなるが、楽しい気持ちを表情や声で表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物を見ようと頭部を動かしたり、教師の語り掛けや効果音をじっくり聞いたりする。 【自】【環境の把握（1）】</li> <li>・好きな活動を発声で選んだり、せりふに合わせて声を出したりする。【豊】【人間関係の形成（1）】</li> </ul>
B 男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナレーションや教師の問い掛けに目を開けることがある。</li> <li>・好きな活動について、気持ちを表情などで近くにいる教師に伝えることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな楽器の音や繰り返しのせりふを聞き、目を開ける。 【自】【環境の把握（1）】</li> <li>・やりたい活動を選び、目を動かしてT1に伝える。 【豊】【コミュニケーション（1）】</li> </ul>
C 男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き慣れた音や好きな音に表情を緩ませる。</li> <li>・リラックスした状態であれば、視線や表情で好きな気持ちを表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語に見通しをもち、せりふや楽器の音を穏やかな表情で聞く。 【自】【環境の把握（1）】</li> <li>・自分のやりたい活動を見つけ、唇や視線を動かして伝える。 【豊】【コミュニケーション（1）】</li> </ul>
D 男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くで提示された教材をしっかり追視することがあったり、歌や大きな声、効果音等を聞いて好きな音を見つけたりする。</li> <li>・好きな歌やせりふ、効果音などで、声を出して楽しさを表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな音やせりふを見つけて期待感をもって聞いたり、近くで提示されたペープサートを追視したりする。 【自】【環境の把握（1）】</li> <li>・好きな場面で声を出して楽しさを伝えたり、せりふや効果音を聞いて声を出したりする。 【豊】【人間関係の形成（1）】</li> </ul>
E 男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物のせりふをよく聞いて覚え、そのせりふを真似ようとする。</li> <li>・発声や身振りで行いたい気持ちを表し、簡単なせりふに合わせて声を出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語の流れや登場人物のせりふを覚え、真似しようと声を出す。 【自】【環境の把握（1）】</li> <li>・指さしなどで演じたい登場人物をT1に伝え、声を出してせりふを言う。【豊】【人間関係の形成（1）】</li> </ul>
F 女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音源を探したり、遠くの登場人物を追視したりする。物語を覚えて、登場人物が出てくる方向を予測して見ることもある。</li> <li>・好きな登場人物と一緒に活動では、笑顔で声を出し気持ちを表すようになってきた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の登場人物に興味をもち、追視したり声がかかる方向を見たりする。 【自】【環境の把握（1）】</li> <li>・やりたい役割を自分で選び、動物役の教師の働き掛けを受け、声を出して一緒に活動する。 【豊】【人間関係の形成（1）】</li> </ul>
G 女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音を手掛かりに、目の前の提示物を見ようと身体を起こす。</li> <li>・好きな音を聞いて、表情や発声、体の揺れで楽しさを表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな音を見つけて期待感をもって聞いたり、目の前の提示物を注視したり、追視したりする。 【自】【環境の把握（1）】</li> <li>・好きな音などを聞いて、身体を動かしてやりたい気持ちを表す。 【豊】【人間関係の形成（1）】</li> </ul>
H 女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示物や登場人物の動きに気付いて、注視や追視をしたりすることが多い。</li> <li>・好きな歌や楽器、声が聞こえると視線を動かして音源を探そうとしたり、口を動かしたりして気持ちを表す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示物や登場人物に気付いて、追視する。 【自】【環境の把握（1）】</li> <li>・好きな音やせりふを聞いて、音源を探そうと視線を動かしたり、口を動かしたりして気持ちを表す。 【豊】【コミュニケーション（1）】</li> </ul>
I 男	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペープサートや登場人物を追視したり、せりふを話している人や音源を探したりする。</li> <li>・気に入ったせりふがあると、自分から、あるいは教師の声に続いて、声を出してせりふを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の動きを追視したり、声や音のする方向を見たりする。 【自】【環境の把握（1）】</li> <li>・話の流れが分かり、自分の好きな役や話したいせりふを声に出して教師に伝え、物語の中で話す。 【豊】【人間関係の形成（1）】</li> </ul>

5 指導計画（総時数12時間）

小題材名	時数	小題材の目標
どんなおはなし?	1	・楽しみながら見たり聞いたりして、ストーリーや登場人物を知る。 ・楽しい気持ちを表したり、好きな場面を伝えたりする。
きいてみよう、やってみよう!	3	・登場人物やペープサートを見たり、楽器の音などを聞いたりする。 ・好きな活動を見付け、気持ち（楽しい、やりたい）を伝える
やってみよう!	8 本時 (6/8)	・注意を向けて登場人物などを見たり、せりふや楽器の音などを聞いたりする。 ・好きな活動ややりたい活動を選んだり、自分の気持ちを伝えたりする。

6 本時の実際（総時数12時中の10時）

(1) 本時の目標

①ペープサートや楽器に注意を向けて、見たり聞いたりする。 自【環境の把握（1）】

②T1とのやりとりでやりたい活動を選んだり、発声などで自分の気持ちを伝えたりする。

豊【コミュニケーション（1）】、豊【人間関係の形成（1）】

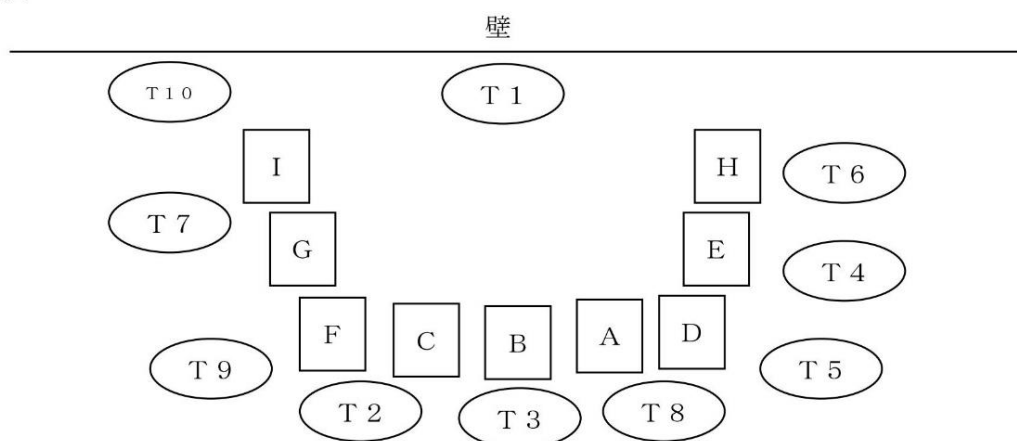
(2) 個別の目標と手立て

生徒	本時の目標	手立て
A（1年・男）	・教師を模倣し、せりふ（動物の鳴き声）を言う場面で発声する。 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">豊</span> 【人間関係の形成（1）】	・見えやすい位置からペープサートを提示する。はじめにせりふ（動物の鳴き声）を教師が言い、「どうぞ。」と促す。
B（1年・男）	・やりたい活動（楽器）を選び、瞬きでT1に伝える。 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">豊</span> 【コミュニケーション（1）】	・どの活動（楽器）がよいか問い掛ける前に、楽器に直接触れたり、楽器の音を聞いたりする場面を設ける。
C（1年・男）	・物語に見通しをもち、楽器の音を穏やかな表情で聞く。 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">自</span> 【環境の把握（1）】	・腕や体に触れながら、「次は〇〇の動物の足が聞こえてきますよ。」と予告する。
D（2年・男）	・好きな活動を追視や発声で伝え、その場面でせりふや音を聞いて声を出す。 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">豊</span> 【人間関係の形成（1）】	・好きな場面で気持ちを表したときは、「～ですか？」と語尾を上げながら問い掛けて確認する。 ・「お話しよう」と事前に声を掛けたり、隣で抑揚をつけてせりふを話したりする。
E（2年・男）	・やりたい動物の役を指さしなどで伝え、教師のせりふに合わせて一緒に抑揚をつけて声を出す。 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">豊</span> 【人間関係の形成（1）】	・ペープサートと動物のせりふを組み合わせ正面の見やすい位置にペープサートを提示して、尋ねる。 ・せりふを言うときに目線を合わせたり、小声で合図を出したりする。
F（2年・女）	・やりたい動物の役を2枚の写真から選び、その場面で好きなせりふの後に声を出す。 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">豊</span> 【人間関係の形成（1）】	・興味を示した登場人物の写真を貼ったスイッチ教材を2つ用意し、タッチして選びやすい位置に提示する。 ・登場人物の役の教師と一緒に前に出て、タイミングが分かるように目配せ等で合図を出す。
G（3年・女）	・好きな音の出るスイッチを押したいことを、身体を揺らして表す。 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">豊</span> 【人間関係の形成（1）】	・好きな音を録音したスイッチを近くで鳴らして提示しながら、「やりたい人はいますか？」と問い掛ける。
H（3年・女）	・好きな効果音などを聞き、瞬きや穏やかな表情で気持ちを表す。 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">豊</span> 【コミュニケーション（1）】	・多方向から音を鳴らしたり、表情に変化が見られた際は共感する言葉掛けをしたりする。
I（3年・男）	・自分の役で、教師と一緒にタイミングを合わせてせりふを声に出す。 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">豊</span> 【人間関係の形成（1）】	・自分から声を出すことを待ったり、長いせりふは発声しやすいうように文節を区切って手本を示したりする。

(3) 展開

時間 (分)	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	準 備 物
20	1 物語を思い出し、やりたい活動を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語や登場人物を思い出しやすいように、始めにテーマソングを歌う場面を設けるとともに、ペープサートや動物の足音（楽器）を紹介しながら物語の一部を提示する。</li> <li>・やりたい活動を選べるように、T1が必要に応じて具体物（ペープサート、楽器）や絵カードを提示する。選択に迷っている生徒には、「〇〇の役をやりませんか？」と誘い掛ける。</li> <li>・やりたい活動や、自分の気持ちについて伝えられるように、T1が一人一人とやりとりする場面を設ける。表出する姿を待ち、気持ちを伝える姿が見られたらその場で称賛する。</li> <li>・T1と生徒のやりとりを全員で共有できるように、T1が「〇〇さんは、〇〇をやりたいようです。」など選んだ登場人物や動物の足音（楽器）を紹介する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペープサート</li> <li>・キーボード</li> <li>・木琴</li> <li>・カホン</li> <li>・マレット</li> <li>・グラビティチューブ</li> <li>・ビッグマック</li> <li>・ジャンベ</li> <li>・絵カード</li> </ul>
30	2 物語に参加する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の役や活動に気付いて参加できるように、ペープサートや楽器を渡したり、言葉掛けでせりふを言う合図を出したりする。（T2以下）</li> <li>・役の友達に注目したり、自分の役や活動で達成感を味わったりできるように、全員から見やすい位置への移動を支援する。（T2以下）</li> <li>・聞くことに注意を向けやすいように、聴覚的な刺激や視覚的な刺激が重ならないように間をとったり、必要に応じて組み合わせたりしながら提示する。</li> <li>・安全に活動に参加できるように、役や活動の支援で抜ける教師の位置に他の教師が入るなど、教師間で連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライオンのお面</li> <li>・大道具（へび、ボジャビの木）</li> <li>・小道具（赤い実）</li> </ul>

(4) 配置図



(5) 評価

<生徒> ※自立活動（集団）は具体化された個々の目標を基に評価します。

<教師> ・注意を向けて見たり聞いたりしたくなるような、ペープサートや楽器の準備は適切だったか。

【教材教具】

・やりとりしたり、気持ちを伝えたりできるような働き掛けは適切だったか。

【働き掛け】